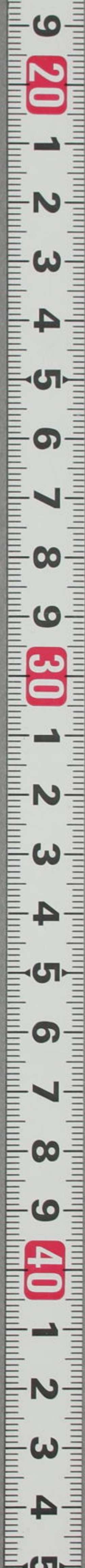




唐土訓蒙圖彙
草末
中

13
1760
10



13
1760
10

本草綱目

唐土訓蒙園菓士

水三味之

草木

此部より水菜毒湿雑苞灌果寓
喬之草木のてて

龍鬚漬菜 海中

石子生いて滑乃
水と沃の白
海産石菜の
乾く水よく白く

鷓鴣菜 海石

のうへまは小兒
の疳病に用はる
い

和名モラン



和名リクマ



澤瀉 根の

後ろの中に生
葉牛の舌より
修り草長し
花黄色なり
世伝尾州と派
海とすりうま

大藕兒 根ハ

根の加えて小
葉熟して合
枝葉食へ



和名

燕子花 水沢

子生れ花は紫し
又白むもわら
る形の似たりと
いへ燕子と云
和名カキツバタ



浮菖蒲 夏

入て生れ六七月に
とりて湯に漬
晒乾し再の泡
塩醃三拌食ふ
生も亦よし



牛尾温 深草

の中に生れ葉ハ
髪の如く甚く深
のく冬月魚
こ和して煮食ふ
夏秋よし



我鳥兒腸 地

就て叢生して
長尺許の對
葉生れ葉間分
て枝と生れ白
花と用く苗葉
食へ



地瓜兒 苗

高二尺餘莖方に
四稜あり葉薄
若に似て微長
苗根よし



碎米薺 田

多し葉は白むを
ひくく白むを
つて小地ののく
わきひくく葉と
合ふは瓜と人



和名レシバ

眼子菜 六七

月より水沢の
中に生れ葉は
長く此月より
柔滑して細長
秋入りり湯に
晒乾し鹽醃に
拌てよし



和名ルビシ

燈檠兒 二月

これより淡い
さうら香油脂
塩に炒て
よし



水菜 秋水

田に生れ狀白
菜に類し香油
椒塩よりたせ
よし



和名三ツナ

首世宿 二月

苗と生れ一叢
数十莖夏及び
秋入て細黄
花と用く小莢
と結て實あり



和名ヒナダイハキ

葎菜 山隠

湿地に生れあり
蔓生して莖
葉此赤紫色葉
乃形蕎麥の如
くして微し



和名トクダミ

猪牛兒 田野

の中に生れ莖蔓
細弱く葉は
五稜の小葉と
ひくく葉は細
上へ葉ありて細



和名ゲシバ

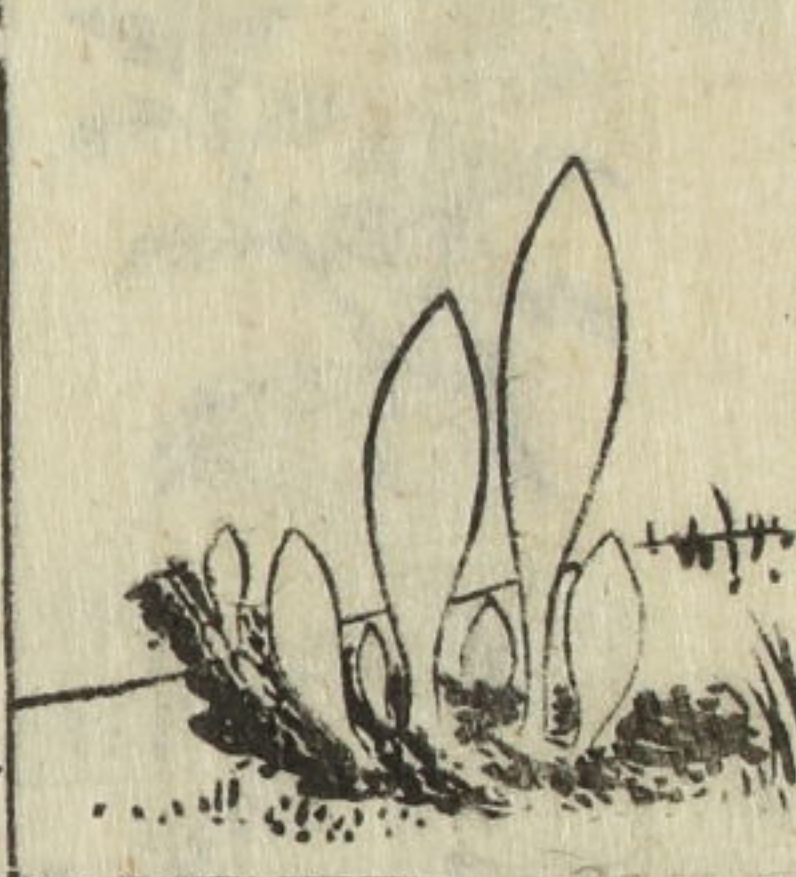
生瓜菜 苗長

一叢とんん
く三四寸夏は
白花と用く細
実と併ふ其味
生瓜の氣か



磨菰草 桑猪

此草と土中 二種
采海とそくく
菰と生瓜形大
小極くあり
一名肉草 又雞臍



雷聲菌 夏秋

雷聲の後 蘇州
中に生瓜 蘇州
のくく 味も亦
わか



狼毒母 苗葉

高陸及大英に
似たり 茎の上り
毛わり 四月日と
いらく 八月実
と結ぶ



葎若子 苗莖

高二三尺葉必黄
に似たり 四月花
と用く 紫色あり
莖に白毛あり
五月実と結ぶ



桐草 一名

相思草 又淡婆
姓 かつ 朝鮮
人南草と名づく
煙花 烟酒 擔
不帰といふ



和名タバコ

大黃 春初

苗と生瓜 茂麻
に似て 根ハ 芋乃
く 四月実
花と用く 一種 羊
蹄 大黃あり



附子 烏頭

天雄 附子 側子
四品都てこれ一
種 苗の高三四尺
以来 莖四稜葉
艾の如く 紫葉
色なり



牙子 昂

狼牙 苗地合
に似く わつ大
く 深緑色 根黒
く 獸の歯牙
の如く 故く かつ



茵芋 苗長

一三四尺 莖
赤系 石榴
似て 短く 厚く 又
石楠に似たり 四月
細花と用く



大戟 春お

芽と生 長く
叢と かつ 葉
入く 葉初生
の柳に似たり 三
四月 莖に 花を
いらく



續隨子 苗ハ

大戟の如く 死
ま 大戟 葉を
葉中に 葉と
抽く 実とあり
実とあり



鬼白 葉ハ

莖麻に似て初
莖生に莖葉の
一葉二兩岐ありて
年々一莖をま
莖枯く一白と名
また赤色莖あり



蚤休 苗葉

王孫鬼白に似り
六月莖葉をむと
用く葉赤紫色
上金線ありく
下金線あり



海芋 苗と

生て高四五尺
大葉芋の如く莖
と抽くむと用く
辨連の如く葉
色シ 大葉外ナリ



防葵 葉ハ

莖似て莖生に
三葉一幹ありて
其葉の如く用
て莖の如く白

和名ホキウフ



蘭サ如 苗葉

大戟に似て花葉
色根蘿蔔の
如く皮黄子肉白
初時汁を
強て添のり



坐草 六月

紫花と名ら
実と倍其苗
ととりてお撲
の傷と治れ



土紅山 高さ

七八尺葉枇杷
に似て毛シ
秋白と生れ
粟粒の如く



攀倒甌 莖

春夏葉花の如
研搗て冷み
に浸し汁を
絞り後熱湯
盛て煩渴と治



葛麻 蛇の

毒と解けし
いとも大毒なり
人後せん
吐利やまら



水甘草 春苗

と生れ莖五月色
葉楊柳の如く
水際生れむ
十一月



甘遂 苗ハ

短小して葉は
汁わろ根皮赤
肉白又草
其遂あり苗葉
莖麻の如く



荒化 二月

皮層を擦り赤
腫に大毒あり



和名イ
ヒトサレユナク

半夏 二月

苗と生一茎一
葉三葉淺綠色
頗る竹葉に似
光り一種半
眼半夏の

曼陀羅 高二

三尺綠莖碧葉
八月白花雨
狀牽牛に似
大し實と結て
圓なり

劉寄奴 葉ハ

蒲公英のこむむ
なり又一種柳葉
のくくあり以葉
畫具の生臘脂と際
はまし血とむ

半天回 春苗

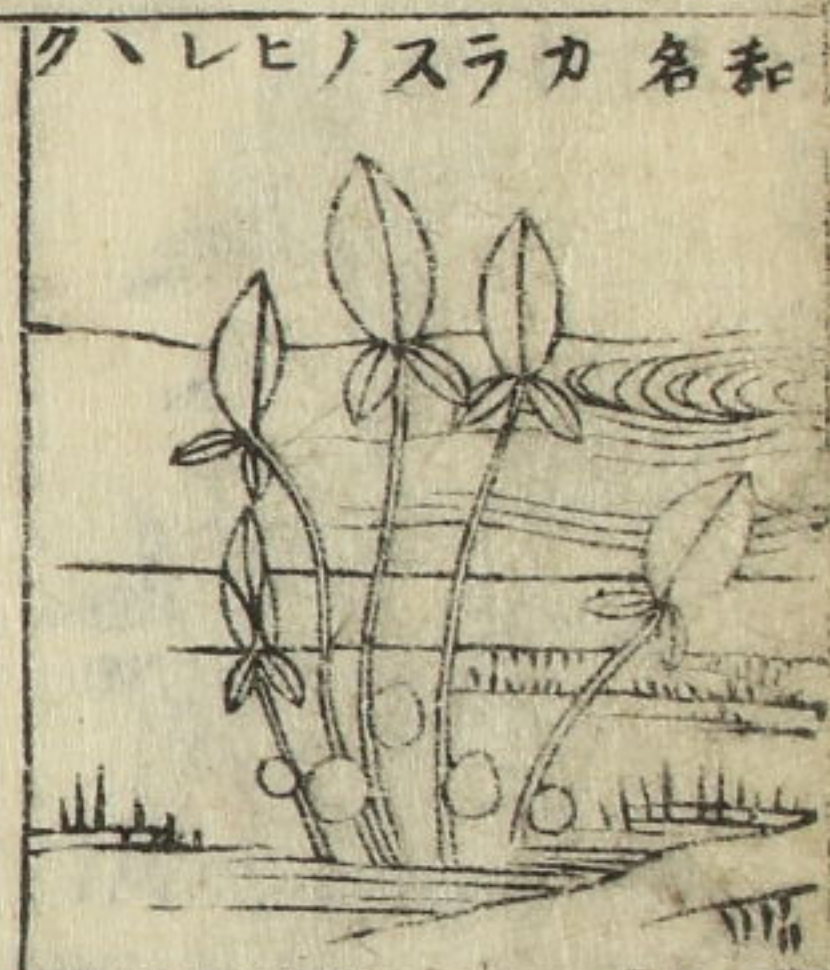
と生及高二尺
赤斑色冬
至て苗葉之
枯る夏月
これとくわり

兔兒傘 荒花

の身に生れその
苗二尺大株
莖出獨葉を
生れ傘蓋の狀
乃くむ淡白

甘藷 苗高

二尺株莖幹艾
に似て葉細長
鋸齒葉莖
と布に生れ甘
菜も食へ



曼陀羅 葉ハ
紅花の如く葉
柄あり根ハ小
蘿蔔に似く
枝條直にのわ
三四月実を
生れ



野蘭根 葉ハ
生て高さ二
尺より四時葉
あり花を
その根とく



半邊山 葉ハ
苦蕒に似厚
根白木に似
軟なり二八九
月一ねとく



小兒群 叢
生高さ一尺より
春夏生長して
花を冬枯
其根を用



甘藷 江浙
近京にあり
名尺二寸名
其汁とのか
研つら



半夏 二月
苗と生一茎一
葉三葉淺綠色
頗る竹葉に似
光り一種半
眼半夏の



野落籬 二三

月子嫩葉より
湯二沸し過
し塩醋し和
してらる



百乳草 莖

葉俱にまろく
松葉の如く
なく三月に苗と
生し四月に長
に



建水叶 枝葉

蒸に似て四時常
にあり 福列
出つ土人葉
と焙乾末
たり用也



催風使 天台

山中に生れ苗
葉又夏常に
まろし其葉と
し葉入る



蕪荳 二月

苗と生し葉初
出らば心より
莖ハ葱に似て白
青色上に黒皮
わり裏の莖極
皮は花の色に
百薬祖 天台
山中に生れ苗
葉冬夏ついに
まろし土人その
葉と冬と



露落草 春苗

と生し随て
と用さしと結
四時凋す其
子葉色とらり
時なり



獨脚仙 春苗

と生し秋冬
至て葉落つ其
葉圓し正五月
下は葉其脚四
五寸夏根葉と



石遺遙 冬夏

常こあり花は
実も亦多し其
常州より
しるに



大木皮 其高

下大小定ら
四時葉わ
花を其皮
と用也



百兩金 苗

高二三寸幹
て木乃如く冬凋
まは葉其面俱
にまろ花実と
結て後背葉
花碧色実
の



烏藍 鳥

大なり村人大
と呼ぶ鳥
此葉但宜く
熟食す



都管草 苗生

以て二三人より葉
土當飯に似て根
巻活に似たり二
八月二根とら



黄燎帚 天台

山中に生に苗
葉冬夏常に
青し亦人其根
とらり葉入り
入



黄花草 春

三月葉と生し
三月に至てむ
あり 辣菜花
こ似く黄色
秋実と借ふ



無心草 三月

花と用き五月
実とむす六
七月二根と
とりらゆ



茆質 葉

赤く花白し七
月より信弱
の土人とりと
風腫と治れ



鷹爪 花葉

色赤鋭て葉の
似たり葉
柳の樹に連花
よ似たり小樹
む用て香し



刺虎 葉

冬と凌て凋と
なりしに時
あり根葉枝幹
ともに用ひ



花心草 蔓

生うして白色
根ハ黄色四月
苗葉ととり
もちめ



苦介子 苗

高一尺より枝
枝葉壹青色
葉柳の
白花と兩て輪
莢に似たり乃
子ハ黒色なり



布里柳 莖の

高三四尺葉ハ
杏に似て大
夏に花さうれ
して 実から



紫金牛 葉ハ

茶の如く上緑に
下紫に實圓く
紅して丹朱
のこし根ハ微
紫色し



子午花 一名

赤落金錢む
赤く夏に入
用く必日午
いかりこり
名けらる



唐土訓書 卷十二

唐土訓書 卷十二

胡蘆州 枝葉

小莖に似る花序
一枝七葉の三
出の苗とれ
橋の俗名と
同熟一丸と
其家



杜蘆山 其苗
高四五尺葉ハ
苦蕒菜に似
たり秋紫を
と用く実杓杞
のく丸なり



國中多うの
其家

キロヨキ名和



草澄加 春夏
葉と生一青滑
て梧桐子に似
たり八九月
ころこ



石棗兒 野圃

多く生れ葉々
薤に似る其根
すの根水仙の
くくくくく
くくくくく
くくくくく

ホルツ名和



麥李花 小
くくくくく
食へ



望江南 荷の

のさく二人こり
長極まうく
肥大し葉と
ひく角とむ
す小三寸作

カサキタイ名和



竹蓐 竹
の液をうりて此
よつて生れ鹿
肉のくく白く
らへへへ又竹
は付ても生れ



白屈菜 回胎

小生れ苗のさく
一二尺葉葉白
色莖毛刺あり
摘取し又と分ち
葉ととひらく
糸ハ山菘葉に似

ウワノサリ名和



雷丸 竹の
葉の葉とつら
かり丸のく
圓く皮をく
肉白くくく
う



科藤 蔓

油で地と被り枝葉
の皮はとつて
何皮のくく
つるの藤の長敷文
彫りこれの長敷文
彫りこれの長敷文
彫りこれの長敷文

ウワノサリ名和



夾竹桃 花ハ
桃のくく葉ハ竹
乃如く葉ハ竹
はく然も湿と
はく然も湿と
はく然も湿と



迎春花 臘月

葉花二種 根
枝上生 花
くはくはり
をを



竹筴花 木の
高四五尺 春
花と用く小
細うて粉米
の



金糸桃 桃の

加して心工
鬚わたり花外
に浦教
金糸の如く



郁李 木乃
高五六尺 枝葉
皆李の如く 惟
子小く梅桃乃
如く土赤く味酸



木香花 三種

あり 花白紫三
色あり



錦帯花 花倍
蕾の形小 花乃
形れく色粉
紅うて橋あり
乞と屏は離り
植て玩し供に



刺桐花 葉ハ

野 薔薇の如く
葉子刺多し
花ハ玫瑰の如
香



茶藨花 藤
身あり 花五月
刺多し 花用て
香微く 清
人あまり 棟棠
非し



玫瑰 花ハ

薔薇 花ハ 枝
刺多し 花ハ 香
氣あり 四月
いろ 糕と名
いへり



金櫻子 葉取
生 薔薇の如く
刺あり 四月 花
と用く 秋子と結
子も亦 刺あり
形 桜榴子 似り



寶相花 薔薇

子 較しん乃亦大
う七 弁心
とつさく大紅し
粉色との二種
あり



波斯菊 一名
西番菊 甚き
久しう 花と乃
子地におつる
昂生し 復も
とたり



和名

和名

和名

和名

和名

和名

和名

和名

和名

和名

木綿 樹

木綿の樹は、葉の裏に綿毛がある。秋になると、綿毛が熟して、採る。白く、柔らかい。布に織る。和名、木綿。学名、Gossypium hirsutum。

吉利子樹 葉の

吉利子樹の葉は、縁が鋸歯状で、葉の裏に綿毛がある。和名、吉利子樹。学名、Gossypium hirsutum。

木半夏 樹の

木半夏の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、木半夏。学名、Gossypium hirsutum。

酸束 其木

酸束の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、酸束。学名、Gossypium hirsutum。

山菜黄 木の

山菜黄の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、山菜黄。学名、Gossypium hirsutum。

蔓荊 高き

蔓荊の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、蔓荊。学名、Gossypium hirsutum。

賣木子 株

賣木子の株は、葉の裏に綿毛がある。和名、賣木子。学名、Gossypium hirsutum。

椿 二木

椿の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、椿。学名、Gossypium hirsutum。

珊瑚 葉ハ

珊瑚の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、珊瑚。学名、Gossypium hirsutum。

蠟梅 臘月

蠟梅の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、蠟梅。学名、Gossypium hirsutum。

文冠花 樹の

文冠花の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、文冠花。学名、Gossypium hirsutum。

蜜蒙 木の

蜜蒙の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、蜜蒙。学名、Gossypium hirsutum。

賣木子 株

賣木子の株は、葉の裏に綿毛がある。和名、賣木子。学名、Gossypium hirsutum。

椿 二木

椿の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、椿。学名、Gossypium hirsutum。

珊瑚 葉ハ

珊瑚の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、珊瑚。学名、Gossypium hirsutum。

蠟梅 臘月

蠟梅の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、蠟梅。学名、Gossypium hirsutum。

文冠花 樹の

文冠花の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、文冠花。学名、Gossypium hirsutum。

蜜蒙 木の

蜜蒙の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、蜜蒙。学名、Gossypium hirsutum。

賣木子 株

賣木子の株は、葉の裏に綿毛がある。和名、賣木子。学名、Gossypium hirsutum。

椿 二木

椿の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、椿。学名、Gossypium hirsutum。

珊瑚 葉ハ

珊瑚の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、珊瑚。学名、Gossypium hirsutum。

蠟梅 臘月

蠟梅の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、蠟梅。学名、Gossypium hirsutum。

文冠花 樹の

文冠花の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、文冠花。学名、Gossypium hirsutum。

蜜蒙 木の

蜜蒙の樹は、葉の裏に綿毛がある。和名、蜜蒙。学名、Gossypium hirsutum。

櫻

木葉

ともまろく冬に花を
さふあら葉は
うはに
一は枝と萬
年枝といふ
凍まの類し

橙

樹

橘といふ葉大に
其形橘より大に
して香りの實
久しくあふ人
家園中

檳櫚

林檎

の類なり実大に
梅ルニ木皮といふ
みれを久し
して代用
功あり人の考
とまり



和名ツラギ



和名ダイダイ



和名ハクシ

棠梨子

三月

花と用く白し
隨て實と結ぶ
其味酸く
澁

棠梨

葉

蒼木に似たり
花白く実と結
て小棟子の如
く

醋林子

其木

高丈樹枝條
毛さう三月花
とひらく白く
四いらし九月
実とじま



和名カシ



和名カシ

無花果

山花

人家の園中
うの葉の形葡萄
葉に似て長く硬
く枝葉の間に
果と生れ初は
熟して椰子の如
く色は赤かき

龍芳切

三月

小白ちとひらく
実と熟は肉味
粘眼と同一

櫻桃

樹ハ

さうく春神自
花と用て葉の如
きと一は
数顆熟く



和名イナ



和名ユスラ



菴摩勒

木の

高二丈枝條甚
軟に葉よく細
密朝し開暮
に飲つ三月花
用て栗米の

椰子

木ハ

祝棉といひて高
敷大子木末
わりの大
瓢の如く枝間
に密に

欖櫚

木乃

高五七丈正直
小て枝が皮
青桐に似たり葉
木腹に生に其
實房と



罌子桐 花葉
くもは橋に類は
實の味甘く
吐きひ多く植
はとれて利あり

波羅得 或云
白木のひかりは
とよる波羅得あり
拙業ニ此説非有
今江州ニアルモ
豐子桐ナリ波羅木
ヲ本州ニテハルニ
白木ニアラス此三國
ヲ考テテ江加ヨリ
未テクニ生シヤス
クシテ油ヲ利アリ

波西維蜜 樹の
高五六丈冬を凋すに
花をくまありて枝
固シ生はた冬は
のこしそよはる栗
穂わり五六月熟する
時重さ五六斤肉のこ
かりて櫛のこく甜
みつめ

血竭樹 木乃
高数丈葉様
栲似て三角なり
其脂液木中
より流り滴膠
の如く久くくして
紫くゆるてかろ

阿魏 西蕃
及以崑崙山
或云は脂を毒を
とる時羊と樹ト
よりてをとり射る
その脂羊につまみ
死にせよと阿魏を
今ハ度より射り
茶とせんて餅と
かしてつらうといふ

龍腦香 漆律
樹といつる木中の
脂白松脂に似く
杉の木れ氣を
がせり



藤黃 樹と
海藤と名はく
真臘の人刀と
以て枝を斬り汁
をとりぬき
今畫家ニ用生葉
ニワリコレナリ

沒藥 樹
攪り似る木の
膏液結ひく
塊とされよ
盧會 波斯
樹に出つ令廣加
より来る者あり
其木より
脂涙の滴りて
かろ取らり採
に時月ナリ

蘭桂 葉細
三條あり葉黄
白ニ色し葉鋸
して枇杷葉の如
くわり又葉乃
節よりあり和
毛し所よりあり

丁香 木の
大外葉櫛に
似て香稠きむ
赤子細葉色し
こ出て釘
此葉と名は

月桂 葉桂
似て皮をきく
辛熱くくると
花も赤き一つ
層く法あり
乃花ありと
天竺桂 樹心
ラツカメ名和



高数丈葉様
栲似て三角なり
其脂液木中
より流り滴膠
の如く久くくして
紫くゆるてかろ

阿魏 西蕃
及以崑崙山
或云は脂を毒を
とる時羊と樹ト
よりてをとり射る
その脂羊につまみ
死にせよと阿魏を
今ハ度より射り
茶とせんて餅と
かしてつらうといふ

龍腦香 漆律
樹といつる木中の
脂白松脂に似く
杉の木れ氣を
がせり



月桂 葉桂
似て皮をきく
辛熱くくると
花も赤き一つ
層く法あり
乃花ありと
天竺桂 樹心
ラツカメ名和

丁香 木の
大外葉櫛に
似て香稠きむ
赤子細葉色し
こ出て釘
此葉と名は

蘭桂 葉細
三條あり葉黄
白ニ色し葉鋸
して枇杷葉の如
くわり又葉乃
節よりあり和
毛し所よりあり



側柏 木の

葉側びふと夕
名は三月と
ひらき実と強
圓葉斤とら
ものふしあへ



沉香 木の

葉多く葉楸ふ
似て花白く子ハ
檳榔に似て大
桑の如く水
沈むの上と



降真香

番国より至り香
蘇方木に似たり
是と諸香と和七
葉、葉と感
神と降は



扶杉 江南

山谷に生に樹大
枝十圍あり風無
して葉うみけり
詩経に潤唐棟
之華あまなり



蘓方木 樹ハ

この葉ハ
出ハ
絳色と
深む



杜仲 木の

高数丈葉辛
葉の如くは厚
は軟にこれ
乃て内ニ白線
と出



檜 木の 二種

わら一種、葉度
して榛に似たり
小田嶋にて民
用し利あり



茶梅 白と

粉おの二種あり
土月もよく用て
久しく而して
世ニ山茶花と云ハ
石ツツ山茶花ハ
和ニ云ツバキナリ



海桐 葉ハ

手の大乃加皮
棒の如く白皮に
して堅く漉と
滑りてまると
楓ま



烏藥 葉微

圓くして尖て三
葉と云は面青く
背白く五月
黄白の細むと同
六月実と結小



檉 木の

木楮に似たり
秋の晩に實を
家裏に其木
と楸と作て挿
魚必自浮出と云



楸 木の

大小あり大は
琴瑟に似たり
葉ハ楸桐と云
白むといらく
和名ヒサキ



新木麩 樹ハ

枕掃子似て葉離
披毛衣の状に似
木皮に白粉あり
縣と申し、合へ玉
人吟、夢野、のり
蜀云、交趾、のり



鳥櫛木 樹の

色漆黒、體重堅
緻、毛ぬき、あて
て、葉ハ、ま
ま、似、り
性毒と解に



樟木 樹ハ

山桃、似、り、木ハ
小斑、點、あり、皮厚
して、軟柔、し、皮匠
家、用、て、鞆、の、裏
ト、シ



相思子 樹の

子、天、餘、葉、楳
子、似、て、毛、ハ、黄、一
似、り、葉、ハ、猪、毛、
子、あり、半、截、三、
ふ、あり、これ、と、
腥、香、と、収、れ、乾
り、也



巴豆 木の

高二丈、葉、楳
桃、の、如、く、厚、く
大、一、四、月、を、発
し、五、六、月、實、と
結、ぶ



大風子 大楳

の子、狀、楳、子、
く、く、あり、圓、あり
其、味、に、核、あり、數
十、枚、中、の、白、色
二、一、く、く、と、使、る



猪苓 土乃

底、生、皮、黒、く
塊、と、な、り、形、猪
糞、に、似、ら、せ、
名、は、一、名、地
烏、桃



訶梨勒 木白

く、子、ハ、楳、
似、て、葉、黄、色、皮
肉、相、成、く、七、八、月
實、熟、す、り、の、
し、り、し



檉 樹大

高く、攀、り、柳、樹、の
お、く、葉、ハ、楳、
似、て、狭、長、し、冬、
に、葉、ハ、紫、色、に
お、ち、家、の、類、子、
を、り、佳、を、り



楠 樹大

小、て、葉、桑、の、
其、材、性、堅、く、水
に、耐、え、り、故、に
舟、に、造、る
木、ハ、
と、り、あり



